

みんな育てる福祉のこころ



1人は万人のために 万人は1人のために



第555号

発行日 毎月20日
定価一部 15円

※会員の購読料は
会費の中に含む

(一社) 佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952(32)1243
ホームページアドレス: <http://saga.rofuku.net/>

発行人 青柳 直
編集者 江頭 一哉

中央労福協 第7回 加盟団体代表者会議開催

11月25日(金)「東京 ホテルラングウッド」において、中央労福協第7回加盟団体代表者会議が開催された。役員16名、事業団体11名、労働団体28名、地方労福協46名の101名(委任状19)の参加のもと、黒河副会長開会の挨拶で始まった。

第1部の記念講演は、NPO法人「抱撲」理事長奥田知志氏より『「助けて」と言える社会へ』と題した講演を傾聴した。

第2部代表者会議では、議長に増田喜三郎氏(JP労組中央副執行委員長)を選出し議事が進められた。

冒頭に主催者を代表し神津会長より、加盟団体代表者会議は、2年サイクルの運動の中間年において、活動方針の中間総括と補強について論議いただき、来年度の活動に繋げていくことを目的としている。

今後の重点取組みとして、「奨学金制度改善の取組み」「貧困・格差の是正と困窮者自立支援の取組み」更に「労働者福祉事業と労働運動の連携強化」について提唱された。特に、奨学金制度改善の取組みについて、第1ステージ・第2ステージの取組みにより、給付型奨学金の創設は今年の参議院選挙において与野党のそれぞれの公約となった。また、政府の一億総活躍プランや経済対策にも盛り込まれた。しかし、一歩前進ではあるがどのく

らの規模と内容になるのかが課題である。報道を見る限りでは対象者もかなり限られ、給付金も3万円を軸に調整されている。未来を担う若者の学びを支えるためには、若者支援への予算配分を高めていく方向で、制度を作っていかなければならない。今取り組んでいる「賛同要請」と「当事者の声の募集」に全力を上げて大きな運動にしていくことが提起された。

議事については、2016年度活動経過報告、2016~2017年度活動方針の中間総括と課題・補強(案)、2016年度会計決算報告、2016年度収支差額処分(案)2017年度会計予算(案)、2016年度会計監査報告について提案し、全ての議案が全会一致で承認された。

最後に、南部副会長による特別アピール(案)が提案され、全員の拍手によって採択となった。



唐津東松浦地区労福協 バスハイクと地区の状況について

唐松地区では、毎年恒例となっているバスハイクを10月16日(日)に行いました。下関の水族館(海響館)で、イルカやペンギンを見た後、唐戸市場で新鮮な「ふく」や「海鮮丼」を頂きました。

その後、関門海峡の海底人道トンネルをウォーキングしました。人道トンネルは長さ約780mあり、地下約50mでの県境の写真撮影が人気でした。

唐松地区では、毎年、パソコン教室、バスハイク、メンタルヘルス講演会、法律問題学習会、ボウリング大会などを開催しています。

来年も労働者の福祉向上のため、様々な活動を計画しているところで



違い馬頭

東日本大震災から5年7ヶ月が経過する中で、福島県を訪問する機会があった。地元労福協役員より、市町村より帰還を呼び掛けているが、「避難先の生活に子供が馴染み、元に戻らない状況、また、安全性に危惧し戻らない状況にある」・「過疎地の方は避難先での生活レベルが高く戻らないケースも発生している。」という環境の中で「人が戻らない処は町はできない」との言葉に再生には厳しい状況であることが推察される。

また、発災当時の自治体職員の対応は、職員自らも家族や親族を失い、また、家族等を避難させている状況でありながら、献身的に被災された住民の避難先の確保や支援物資の配給等、限界を超えた業務遂行の状況を聞き頭が下がる思いだった。

南相馬市より国道6号線を南下する中で、除染土等を詰め込んだ大

量のコンバックが複数の所に積み上げられている。また、田んぼに積み上げられたコンバックの横でトラクターによる耕運作業の光景も見られた。中間貯蔵施設の配置計画が決まっているようであるが、一日も早い收拾を願う。

帰還困難区域となっている、大熊町では国道6号線の両側に建立している建物への出入りが禁止され、横道への進入路へはバリケードが設置され進入禁止となっている状況を目のあたりにした。

課題回復については、国及び自治体の取組みが進められているものの、帰還可能となった地域については安全・安心な環境整備、帰還困難地域については避難先でのコミュニティの整備、他地域を選択された方には十分な補償等を早期に行うことが必要と思われる。

今後について復興・再生への支援を行うとともに、原状復帰に止まらず人口減少・高齢化・産業の空洞化等、総合的な課題をも解決され、全国モデルとなることを期待する。(K・E)

夜間融資相談会開催中!

ろうきんでは毎週木曜日の17:00~19:00までの間、夜間融資相談会として各支店の融資窓口を開けてご相談を受け付けています。

日中はお仕事で窓口へ相談に行けないという方は、お仕事帰りに是非お近くのろうきんへお立ち寄りください!



事前に予約のお電話をいただくと、お待たせすることなくご案内が可能です
■開催日時 毎週木曜日 17:00~19:00 ■開催場所 佐賀県内各店舗

<p>佐賀支店・ローンセンターさが ※平日時間外ローン相談会はローンセンターさがで開催いたします。</p> <p>佐賀市駅前中央3-13-8 (ローンセンターさがは佐賀支店3階) 【佐賀支店】☎0952-32-1231 【ローンセンターさが】☎0952-36-5311</p>	<p>鳥栖支店</p> <p>鳥栖市元町字川原1328-1 ☎0942-83-3211</p>	<p>唐津支店</p> <p>唐津市大名小路2-38 ☎0955-74-4131</p>	
<p>伊万里支店</p> <p>伊万里市新天町640-1 ☎0955-22-6111</p>	<p>鹿島支店</p> <p>鹿島市大学納富分1728-9 ☎0954-83-5251</p>	<p>武雄支店</p> <p>武雄市武雄町大学昭和296 ☎0954-23-1511</p>	<p>小城多気支店</p> <p>小城市小城町畑田81-5 ☎0952-72-3131</p>
<p>ローンセンターさがは右記の営業時間となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平日 10:00~19:00 ● 土・日 10:00~17:00 ● 休業日 祝日(土日と重なった場合は営業します)、水曜日、12/31~1/3 			

授業料・進学費用などの学費の準備はお済ですか?

受験シーズン本番となり、お子様の受験料や次年度の授業料の準備等で思案されているご家庭もあるかと思います。

現在ろうきんでは、2017年4月末までの期間限定で教育ローンの金利引き下げキャンペーンを開催しています。お借入金額も1,000万円から2,000万円へと上限を拡大しています。また、既に他金融機関にて教育ローンをご利用中の方はそれらをまとめて一本化し、スリムな返済計画を立てることも可能となっています。

教育資金でお悩みの方やローンの利用をご検討中の方は、是非ろうきんへご相談下さい!

カーライフローン

融資限度額 1,000万円以内
(1万円以上、1万円単位)

ご返済期間 10年以内

変動金利型 年1.4%
固定金利型 年1.7%

※別途保証料(年0.7%~年1.2%)が必要となります。

**カーライフローン
教育ローン
キャンペーン**

今なら
おトクな特別金利!

2016年10月1日(土)~2017年4月30日(日)まで

★必要な時にコンビニATM等
その都度借入できる便利な
教育ローン【カード型】
ご希望いただいております

教育ローン

融資限度額 2,000万円以内
(※1)セーフティ融資額1,000万円以内
(1万円単位、1万円単位)
(※2)カード型は10万円以上、10万円単位)

ご返済期間(借入期間)
変動金利型 20年以内
固定金利型 15年以内

変動金利型 年1.5%
固定金利型 年1.9%

教育ローン【カード型】
変動金利型 年1.5%*

※利率については貸付期間を考慮とし、最長7年以内となります。
※別途保証料(年0.7%~年1.2%)が必要となります。

無料法律相談会 早めのご相談をお願いします!

新しい年を迎える。「何でも相談窓口」では、年末から新年へ向け相談件数の増にともなう体制が求められる。とりわけ、本年度は4月に弁護士による無料法律相談会を各市町の公報への掲載をお願いしたことから、佐賀市外の相談件数が増えた。相談者の半数が公報を見てからの電話だ。対応では、九州ろうきん佐賀支店での第2火曜日の17時から「無料法律相談会」を開催することとなり、連携を取っての対応が可能となった。

ライフサポートセンターは多種多様な「なんでも相談」を受けている。毎週月曜日は連合佐賀のアドバイザーによる労働問題相談窓口を、さらに毎月1回第3日曜日に弁護士による無料法律相談会を開催している。何と言っても早目の相談が肝心だ。

相続問題・金銭トラブル・生活困窮など困った時は一人で悩まずお気軽にご相談下さい。無料法律相談会の日程は上記のとおりです。下記フリーダイヤルに事前の予約をお願いします。

●申込み・お問い合わせ先 (一社)佐賀県労働者福祉協議会 ライフサポートセンターさが ☎0120-931-536
佐賀市神野東4丁目7-3 (佐賀県労働会館1階)

○今後の開催日時

2017年

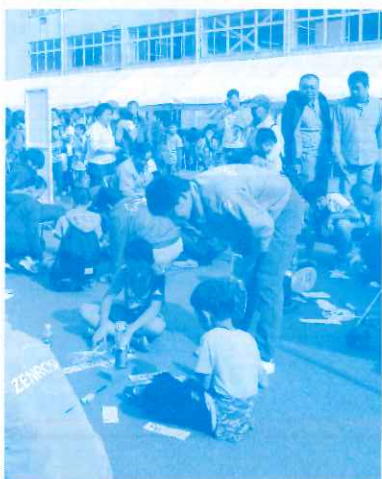
1月15日(日) 午後1時~4時

2月19日(日) 午後1時~4時

*3月以降も開催予定です

全労済のぼうさいカフェin 名村造船工場見学会 トヨタ紡織九州ユニオンフェスタ

名村造船工場見学会



2016年11月13日(日)、名村造船工場見学会およびトヨタ紡織九州ユニオンフェスタにおいて「ぼうさいカフェ」を出展しました。当日は、多くの来場者に以下の実施メニューを親子で楽しんでいただきました。

「ぼうさいカフェ」は、内閣府が国民の防災意識の向上を目的に、出前講座として推進しているものです。全労済では、地域社会貢献の一環として取り組んでいます。

トヨタ紡織九州ユニオンフェスタ



ぼうさいカフェ実施メニュー

- ① サバイバルメシタキ
紙パックを燃料にして、空き缶でご飯を炊く非常時の炊飯体験。
- ② ぼうさい迷路
地震や火災時の非難姿勢を学ぶ、ダンボールで作った子供向け迷路。
- ③ 非常食の展示と試食

ぼうさいカフェってなあに?

寝ている時に地震でタンスが倒れたら…海水浴中に津波がきたら…災害で家族と連絡がとれなくなったら…災害はいつ起きるかわかりませんよね。

「災害は忘れたころにやってくる」と言われています。でも、備えはできていますか？今すぐに、だれでも“ちょっとした”ことで、自分の身を守り、災害の被害を小さくすることができるんです。

「ぼうさいカフェ」は、そんな“ちょっとした”備えや、知っておきたい知恵、そして、大事な人や自分を守る術をみなさんにお伝えする場にしたいと考えています。

「防災ってよくわからないo(><)o」「何かしなきゃ、とは思っているけど…(><)」「私は大丈夫、なんとかなるわ!(*^_^*)b」という方たちと一緒に、楽しみながらまずは気軽に、簡単な「ぼうさい」にふれる場を提供しています。

